

## □「まちの玄関」を創る ～ 駅前広場整備 ～

既存のストックを活用して、高齢化社会や環境問題への対応が図れるコンパクトな都市構造をつくることがいま求められています。そのための重要なポイントのひとつとして駅周辺の整備があります。

駅周辺の中心となる駅前広場は、交通のニーズにあった十分な空間や機能の確保をするとともに、都市の「顔」としてのシンボル性、オープンスペースとしての役割にも配慮した「まちの玄関」として整備をする必要があります。

### 【駅周辺地区が抱える課題】

中心市街地の停滞  
駅前空間の個性の欠如  
放置自転車  
安全な歩行空間の欠如  
交通結節点としての機能不足

### 駅前広場整備

円滑に交通を  
処理する広場

誰もが安心して  
利用できる広場

地域の顔となる広場

## 1. 新たな駅前空間の創造 ～ 新交通日暮里舎人線江北駅 ～



江北駅は、平成20年3月に開業した新交通日暮里舎人線に伴って整備された新駅です。駅の東西には交通広場・歩行者広場・児童遊園・道路が新たに整備され、駅開業により大きな変化が遂げられた場所です。

弊社の特徴を生かした取り組み

弊社が有する多様な分野のノウハウを生かした作業体制による業務の遂行

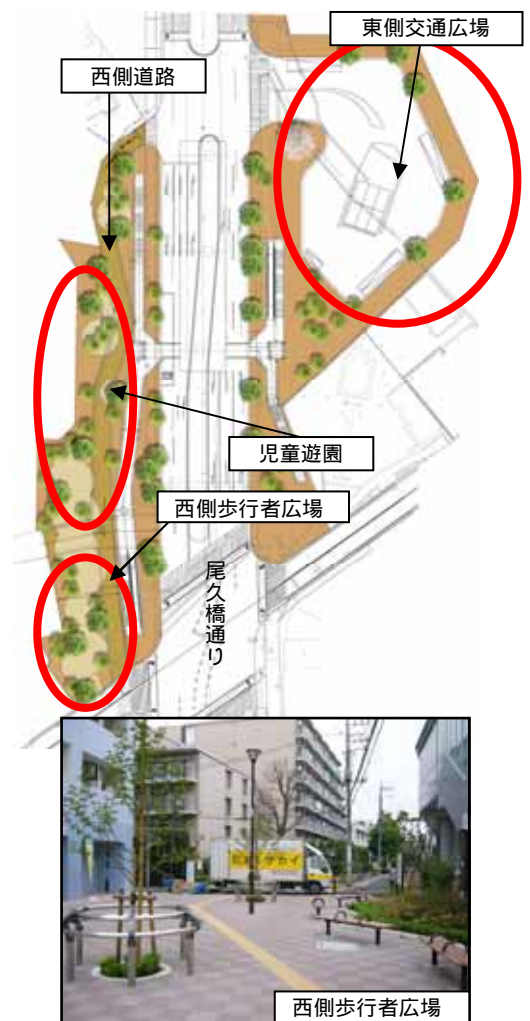
道路部門・・・東側交通広場設計（電線共同溝含む）  
西側道路設計、西側歩行者広場

交通計画部門・・・交通広場需要予測、交通広場費用便益分析

造園部門・・・児童遊園設計

建築部門・・・東側交通広場（トイレ・シェルター設計）

各部門が十分な連携を図り作業を進めることにより、日暮里舎人線によって分断されている東西の各施設が統一性を持って計画・設計され、駅前地区が自然な広がりや醸し出すような空間となりました。



## 2. 既存駅前広場の問題解決 ~ 地下鉄東西線葛西駅 ~

**課題 バス乗降場の不足**  
 バス路線 13 系統の集中  
 (1日約 4.4 万人の乗降客)  
 バス、タクシー利用ゾーンの混在



### 解決策

バスとタクシーの利用ゾーンの完全分離  
 車路スペースの最小化によりタクシーゾーンの拡張や、バス乗降場、地下駐輪場出入口スペースを確保

**課題 放置自転車**  
 1,800 台の放置自転車  
 既設駐輪場施設 (5,400 台) の分散



### 解決策

地下式の機械駐輪システムを導入  
 採用したシステムは1基あたり180台の収容能力があり、これを駅前広場に36基設置することで限られたスペースを効率的に活用し、収容力アップを図りました。(機械式+平置き: 9,400台)  
 電子カードシステム採用による管理の省力化

## 3. 総合的な駅前広場整備のための提案をいたします

駅前広場整備には多様な分野のノウハウが必要とされます。弊社はまちづくりの総合コンサルタントとして、豊富な経験と実績から、駅の拠点性を高め、個性ある魅力的で総合的な駅前広場整備をご提案いたします。

~ 総合計画部門 ~

- ・まちづくり
- ・中心市街地活性化
- ・再開発

~ 橋りょう部門 ~

- ・ベデストラップ
- ・歩道橋

~ 建築・造園部門 ~

- ・エレベーター
- ・エスカレーター
- ・駅舎
- ・バス待合所
- ・モニュメント
- ・サイン計画
- ・植栽

~ 交通計画部門 ~

- ・地域公共交通総合連携計画
- ・交通環境改善計画
- ・バス交通計画

~ 道路部門 ~

- ・交通広場
- ・バスターミナル
- ・街路
- ・電線共同溝
- ・バリアフリー化

~ 構造トンネル部門 ~

- ・地下道
- ・地下駐車場
- ・地下駐輪場

八王子駅北口駅前広場



セントラルコンサルタント株式会社

<http://www.central-con.co.jp>